

「冬枯れ」

この人 料理とかできない

あの人 料理できちゃう

戦闘機が飛ぶ音。

この人、大の字で寝っ転がっている。

あの人、座るなり立つなりしている。寝転んではない。

この人、寝転がったまま話し始める。

この人 寒いねえ。

あの人 寒いねえ。

この人 冬だもんねえ。

あの人 もう冬本番だな。

この人 空、のっぺりしてるね。

あの人 空が近いんだよ、冬だからさ。

この人 ね、こう寒いとさあ、あれ食べたくなるよね。

あの人 あれ。

この人 あれ。

あの人 なに？

この人 それ。

あの人 だから、どれ？

この人 あれ、ほら温かい、あれ。

あの人 どれだって。

この人 あれだよ、あれ。

あの人こそあどで会話するなよ。

この人 え？

あの人 これとかそれとかあれで会話するなって。

この人 こそあど。

あの人 うん。

この人 こそあど、こそあど。

あの人 なに？

この人 こそあどってさあ、良いよねえ。

あの人 うん？

この人 なんだか生き物みたいじゃない。
あの人 こそあど。
この人 こそあど。生き物っぽくない？こそあど。
あの人 こそあど……オガサワラテナガこそあど。
この人 あ、いいなあそれ。
あの人 だろ。
この人 僕もなんか探そ、えつとね……アフリカシリナガこそあど。
あの人 おー。
この人 いいでしょ。
あの人 うん。
この人 ね。
あの人 ……違うくない？
この人 え。
あの人 アフリカはまあいいとしてさ、お尻長くなっちゃまずいんじゃないか？
この人 なんで。
あの人 変だろ、なんか。
この人 じゃあさ、こそあどの形知ってるの？
あの人 え？
この人 こそあどが、どんな感じか。どんな生き物か。
あの人 いや……。
この人 二足歩行かもしれないし、四足歩行かもしれないし、羽とかあるかもしれないよ。
あの人 知らないって。
この人 でしょ。じゃあ、わかんないじゃん。蜂みたいな感じかもしれないじゃん。
あの人 蜂？虫の蜂？
この人 うん。ブーンってするやつ。
あの人 ああ、そっか。あいつ長いもんな、お尻。
この人 うん。シリナガこそあど。ブーン。
あの人 うーん。あれって、お尻っていうより針なんじゃない？
この人 ブーン、ブーン。
あの人 ……うん。

間。

あの人 でき。
この人 うん。
あの人 何食べたいの？

この人 え。
あの人 そういう話だったじゃん。
この人 え、それ、元を辿った系？
あの人 うん。辿った系。
この人 そっか、辿られちゃったか。辿られちゃった系か。
あの人 何食べたいの、寒くなると。
この人 あれ。
あの人 どれ。
この人 だからあれ
あの人 どれって。
この人 ほら、あれ、あの、あ、天津飯。
あの人 ああ、玉子の。
この人 うん。
あの人 ご飯に乗っかってるやつな。
この人 そうそうそう。
あの人 違くない。
この人 え。
あの人 寒くなっても天津飯食べたくなんないでしょ、そんなに。
この人 そうかな。
あの人 俺はなんないよ。
この人 えー、嘘だあ。じゃあ、何？
あの人 俺？
この人 うん。二人しかいないじゃん。
あの人 俺はねえ、鍋かなあ。
この人 あー。
あの人 日本人だもん、やっぱ。大和魂だもん。
この人 鍋からそんなに大和魂感じるかな。
あの人 感じる。天津飯よりは感じる。
この人 まあ、そっか。
あの人 鍋でしょ、やっぱ。冬は鍋。
この人 でもさあ、鍋ってさあ、あれが足りないよね。
あの人 何？
この人 あのー、あれあれ。
あの人 またこそあど。
この人 あれだよ、あ、とろみ。
あの人 とろみ。

この人 とろみ。天津飯はさ、とろっとしてるじゃん。その方が温まりそうじゃない。
あの人 あー、一理あるかも。
この人 ね。大事でしょ、とろみ。
あの人 かもね。
この人 うん、とろみ。
あの人 あのさ。
この人 うん。
あの人 例えば酢豚もさ、とろみあるじゃん。
この人 あるねえ。
あの人 食べたくなんないの？
この人 え？酢豚を？
あの人 うん。あれもとろみあるじゃん。冬になると食べたくなんないの？
この人 あー、食べたいかも。
あの人 エビチリは？
この人 とろみあるねえ。食べたい。
あの人 麻婆。
この人 いいね。
あの人 えー、皿うどん。
この人 食べたい！
あの人 ねえ。
この人 うん。
あの人 もう、ただとろみが好きな人じゃない。
この人 そうかも。
あの人 寒さ関係ないじゃん。
この人 そうかも。僕、とろみマンかも。
あの人 とろみマン。
この人 うん、とろみマン。
あの人 とろみマンってなに？
この人 とろみマンは、とろみマンだよ。あ、とろみマンってさ角煮マンと似てるね。
あの人 そりゃね。お尻が一致してるもんね。
この人 あ、シリナガとろみマン。
あの人 なにが、あ、なの？
この人 え、さあ。
あの人 さあ、つて……。
この人 ほら、反射で会話してるから。
あの人 うん。出来れば止めて欲しいな、それ。

この人 そっか。
あの人 うん。
この人 善処します。
あの人 よろしく。
この人 はい。

間。

この人 ね。
あの人 ん。
この人 パイナップル入れる？
あの人 え。
この人 酢豚に。パイナップル。入れる？
あの人 戦争だよ。
この人 え。
あの人 その議題だけで戦争が勃発すんだよ。
この人 マジ？
あの人 今起きてる戦争の理由の八割がそれだから。
この人 マジか、聞かない方が良かった？
あの人 出来ればね。
この人 今度から気を付ける。嫌だもんね、戦争は。
あの人 ……入れない。
この人 え。
あの人 入れない。パイナップル。甘いし。酸っぱいし。
この人 ……で。
あの人 変な味すんじゃない。
この人 あー、戦争だよ。勃発。ドーン。
あの人 あ、入れる派？
この人 うん。
あの人 あー、戦争だね。
この人 僕と君のね。
あの人 うん。
この人 へー、入れたくないんだ、ふーん。
あの人 うん。
この人 へー、ふーん、はーん。
あの人 あ、なんか挑発されてる気がする。

この人 あれだよ。
あの人 なに。
この人 中国人は怒ってるよ。
あの人 なんて。
この人 だって、中国では入ってるから。パイナップル入れるアルって言うてるよ。彼ら。
あの人 なるほど。
この人 もう大激怒だよ。怒髪天。
あの人 強そうだよな、怒髪天って。
この人 あ、俺も同じこと思った。
あの人 空手とかできそう。
この人 いいよね、怒髪天。
あの人 うん。んー、でも俺あれだからな。
この人 なに？
あの人 中国嫌いだからな。
この人 え。
あの人 嫌いだから。怒られてもな。響かない。俺、日本人だし。
この人 そんな、身も蓋もない。
あの人 ないよ、身も蓋もない。
この人 えー、なんか、中国嫌いかー。
あの人 アメリカも嫌い。
この人 うわわ。
あの人 ロシアも嫌い。
この人 なんでも嫌いじゃん。
あの人 イギリスも嫌い。
この人 うわー、外国嫌いマンじゃん。
あの人 外国嫌いマンってなに？
この人 君。
あの人 ああ。
この人 うん。外国嫌いマン。
あの人 時代感江戸時代で止まってるから。
この人 うわ、鎖国だ鎖国だ。
あの人 出島とかもないから。
この人 オランダも嫌いじゃん。
あの人 うん。蘭学とか取り入れない系だから。
この人 取りつく島もないね。
あの人 ないね、文字通り。微塵もない。逆にさ。

この人 お、逆に聞いちやう系？
あの人 うん。逆に聞いちやう系。
この人 逆に聞かれちやう系。
あの人 逆にさ、好きなの？
この人 え。
あの人 外国。中国とかアメリカとか。
この人 うーん。嫌いではない。
あの人 好きでは。
この人 好きでもない。
あの人 なんじゃそりや。
この人 だって、好きになる理由は無いし。
あの人 嫌いになる理由は？
この人 嫌いになる理由は、いっぱいあるけど。
あの人 ほら。
この人 でも、嫌いではない。
あの人 なんです。
この人 なんてかな。
あの人 わかんないの。
この人 うん。
あの人 そっか。
この人 うん。そういう時もある。
あの人 まあね。
この人 なんて嫌いな。
あの人 え、日本人だから。
この人 そっか。
あの人 うん。
この人 これ以上ない理由だね。
あの人 でしょ。大和魂だから。
この人 なんか違う気がする。
あの人 そうかな。
この人 うん。
あの人 寒いねえ。
この人 寒いねえ。
あの人 大和魂あっても寒いのはどうしようもないな。
この人 確かにねえ。

間。

この人 ね。

あの人 うん？

この人 天津飯って作れる？

あの人 天津飯？

この人 うん。料理得意じゃん。

あの人 あー、まあ。

この人 あれ美味しかったな、ほら、あれ。

あの人 なに、どれ？

この人 一回作ったじゃん。ほら、あれ。

あの人 どれって。こそあど、また。

この人 あー、水炊き。

あの人 あー。

この人 あれ美味しかった。

あの人 あったねえ、そんなの。

この人 ね。それに比べれば天津飯なんて。ね。

あの人 うーん。

この人 ね、作れそうじゃない？

あの人 作ったことないからなあ。

この人 あ、そっか。

あの人 作り方調べないと。

あの人、携帯を取り出して検索しようとする。

この人 無理じゃない。

あの人 え。

この人 ここ、圏外だと思う。

あの人 え。あ、ほんとだ。

この人 基地局もないから。

あの人 あー、流石にね。

この人 一番最初になくなったもん。

あの人 ヤフーさん息してないな。

この人 グーグルさんも心臓止まっちゃってるから。

あの人 天津飯はお預け。

この人 だね。

あの人 よく食べるの？
この人 天津飯？
あの人 うん。
この人 前はね。最近はあるまり。
あの人 ああ。
この人 なんて？
あの人 いや、材料とか分かるかなって。
この人 あー。
あの人 材料さえ分かればなんとかなりそうじゃない？
この人 確かにねえ。
あの人 分かる？
この人 多分。
あの人 じゃあ。

あの人、メモかなにかをとる。

この人 えつとねえ、玉子。
あの人 玉子。
この人 お米。
あの人 お米。
この人 カニとグリーンピース。
あの人 カニ、グリーンピース。
この人 ……。
あの人 終わり？
この人 うん。
あの人 こんだけか。
この人 うん、そうだよ。
あの人 ……これさ。
この人 うん。
あの人 肝心のとろみがいらない？
この人 あ。
あの人 とろみだせそうなやつ一人もないよ。
この人 でも、ほら、とろみって、あれ調味料の群れだし。
あの人 そうなの。
この人 うん。多分、醤油とかお酢とか片栗粉とかだと思う。
あの人 あ、とろみの親玉。

この人 え。
あの人 片栗粉。
この人 ああ。
あの人 あいつがとろみの生みの親なんだぜ。
この人 へえ。片栗粉ってとろみパパなんだ。
あの人 うん。えつと、醤油、お酢、片栗粉。おし、案外少ないね。
この人 だね。
あの人 でも作らないけどね。
この人 えー。
あの人 中華料理だし。中国嫌いだし。
この人 料理に政治を持ち込んだじゃだめだよ。
あの人 悪いね。主義だから。
この人 あれだよ、政治と宗教と野球は料理に持ち込んだじゃ駄目なんだよ。
あの人 それは初対面で言っちゃいけない話題だよ。
この人 あれ。
あの人 揉めちやうからダメだっていうやつ。
この人 そうだっけ。
あの人 野球をどうやって料理に持ち込むのか、逆に聞きたい。
この人 お、逆に……。
あの人 逆に聞いちやう系だよ。
この人 わーお、素早い。
あの人 どう持ち込むの。野球。
この人 うーん、例えば。
あの人 うん、例えば。
この人 えつとね、玉子。(手で示す)
あの人 うん。玉子。
この人 を……。
あの人 を？
この人 ……こう。(バッティングのジェスチャー)
あの人 バーン、ビシヤア。(玉子が碎けるジェスチャー)
この人 ダメみたい。
あの人 ね。
この人 野球はナシで。
あの人 初めからそんな気はない。
この人 政治も。
あの人 それは違う。

この人 ちえ。
あの人 しょうがないよ。天津飯は作んない。
この人 ……あ、あ、あ。
あの人 なに？
この人 あ、あ、あ、あ。
あの人 もうこそあどですらないけど、なに？
この人 思い出した。思い出した。
あの人 なに？
この人 天津飯って、中華じゃないよ。
あの人 え。
この人 昔、なんかで見たよ。天津飯って日本人が作ったんだよ。
あの人 嘘。
この人 嘘じゃない。
あの人 え、嘘。検索してみよ。
この人 圏外だよ。
あの人 あ、そつか。え、ほんと？
この人 ほんと。なんか中華料理に憧れて開発した的なやつ。
あの人 マジか、へー。
この人 ね、天津飯。作ってもいいんじゃない。
あの人 あー、うーん。
この人 中華じゃないし。ね。大和魂でしょ。
あの人 うん、確かに。
この人 やった。
あの人 押し負けた。
この人 粘り勝ち。
あの人 よし。作ろう。
この人 やったねえ。
あの人 特別だからな。んじゃあ、材料あるかな。玉子ある？
この人 ない。
あの人 ん。お米。
この人 ない。
あの人 カニ、グリーンピース、
この人 ない。
あの人 醤油、お酢。
この人 ないね。
あの人 ……片栗粉。

この人 ない。
あの人 とろみの親分さえいないじゃん。とろみマンの癖に。
この人 面目ない。
あの人 お前んちなんもないな。
この人 ないねえ。ガスもないよ。
あの人 どうしようもないじゃん。電波もないし。
この人 うん。ごめん。
あの人 いいけど。分かってたし。
この人 水道も電気もないし。
あの人 うん。
この人 壁もないし。屋根もないし。
あの人 ……うん。
この人 でも不思議と庭は無事だった。
あの人 な。
この人 不幸中の幸いだよねえ。
あの人 ほんとな。
この人 寒いねえ。
あの人 冬だしなあ。
この人 むき出しだしねえ。
あの人 うん。
この人 壁がないと冬は厳しいね。
あの人 厳しいよ。
この人 わざわざ壁と天井ふっ飛ばすこともないのにね。
あの人 まあ、無差別だからね。あんなもん。
この人 無差別って聞くと、なんか、あれだね。
あの人 うん。
この人 うん。

間。

この人 熊とかどうしてるのかな。
あの人 え。
この人 熊。冬場どうしてるのかなって。あいつらも野ざらしじゃん。
あの人 ああ。
この人 あいつら家とかないし。
あの人 冬眠してるんじゃない。なんか聞いたことあるよ。

この人 どこで？
あの人 なんか洞窟とかで。
この人 ああ。温かいかな？洞窟。
あの人 ー、野ざらしよりましなんじゃない？
この人 そっか。最悪そこ探そっか。
あの人 うん。
この人 誰に聞いたの？
あの人 え。
この人 熊、冬眠するって。
あの人 さあ、ずっと昔に。小学校の先生とかかな？
この人 ふうん。
あの人 うん。

戦闘機が飛ぶ音。

この人 お、飛行機。
あの人 (空を見上げ) 飛行機。
この人 うん、飛行機。
あの人 飛行機……。
この人 飛行機だよ。
あの人 違くない？
この人 え。
あの人 戦闘機でしょあれ。
この人 ああ。でも戦闘機も飛行機の一部でしょ。
あの人 そうだけどさ……。
この人 だけど？
あの人 飛行機って言っちゃうとき、なんか、あれじゃん。
この人 あれ、なんて言うのかな。
あの人 え。
この人 えっと、ほら、名前あるじゃん。あれ、ね、あれ、それ。
あの人 またこそあど。
この人 ほら、名前、ほら、あれ、えーっと、B、B、B……。
あの人 B29c~
この人 そう、それ。
あの人 古いな、なんか。
この人 え、そうなの。

あの人 古いよ、それ。
この人 古いとかってあるの？
あの人 B なんとかって第二次大戦のやつだろ。
この人 じゃあ、あれは？なんて名前なの？
あの人 さあ、C なんとかなんじゃない。最近のは全部そうだよ。
この人 詳しいね。
あの人 まあ、ね。
この人 飛行機好き？
あの人 嫌いだよ。
この人 そっか。
あの人 好きになる理由ある？
この人 ないね。
あの人 だろ。
この人 うん、ごめん。
あの人 いいけどさ。
この人 うん。先生に聞いたの？
あの人 え。
この人 あれの名前。
あの人 いや……。
この人 ふーん。
あの人 なんて。
この人 ン？
あの人 なんでそう思ったの？
この人 え、なんか先生って何でも知ってそうだし。
あの人 ああ……。先生はそんなこと教えてくれなかったよ。
この人 そっか。
あの人 うん。
この人 あ、行っちゃった。
あの人 (見上げ) ああ、うん。
この人 良かったね。こっち来なくて。
あの人 うん。ほんとに。

間。

あの人 なあ。
この人 ン。

あの人 逃げた方がいいんじゃないか？
この人 いまさら？
あの人 今からでも。
この人 どこに？
あの人 なんか、あるでしょ。
この人 なんかって。
あの人 なんか、あれ。
この人 お、こそあどか？
あの人 なんか、ほら、防空壕とかさ。
この人 ないよ。
あの人 なんて。
この人 だって、日本つてきコンクリートジャングルじゃん。地面硬いし。そんなの誰も掘ってないよ。
あの人 分かんないだろ、そんなの。
この人 分かるよ。
あの人 なんて。
この人 そんなのあったら今頃みんな逃げてるよ。
あの人 そっか。それもそっか。
この人 うん。
あの人 じゃあ、掘ろうぜ。防空壕。
この人 え。
あの人 だってほら、庭。無事だし。ここ土だろ。
この人 いやいや。
あの人 なに。
この人 浅いから。そんなとこ、掘ったって入れないでしょ。
あの人 分かんないだろ。
この人 分かるよ。手で掘るの？
あの人 持つてる。
この人 なにを。
あの人 シヤベル。
この人 え。
あの人 ここに。

あの人、どこから小さい園芸用シヤベルを取り出す。

この人 うわ、どうしたの。

あの人 持ってきてた。家から。
この人 用意いいね。
あの人 うん。これで掘れる。
この人 うん。手よりはいいよね。
あの人 だろ。すぐ掘れっから。
この人 小さくない？
あの人 うん。これしかなかったから。
この人 掘るの？
あの人 うん。掘らないの？
この人 僕は、いい。
あの人 なんて。
この人 なんて、なんか、こうしてた方がいいから。
あの人 そっか。
この人 うん。
あの人 じゃあ、俺掘るね。庭。
この人 うん。
あの人 いいの？
この人 なにが？
あの人 一応、お前んちの庭だから。
この人 ああ、いいよ別に。
あの人 わかった。

あの人、庭を掘り起こし始める。

この人 なんか、芋ほりみたいだね。こっちから見ると。
あの人 まあ、地面掘ってるのは一緒だし。
この人 まあね。
あの人 ん？
この人 ん？

あの人、地面から球根を発見する。

あの人 これ。
この人 ああ、それ。
あの人 なにこれ。
この人 水仙。

あの人 水仙？
この人 うん。植えといたんだ。
あの人 いつ？
この人 え、えっと、一か月前ぐらい？うん、一か月前、丁度そんなぐらい。
あの人 へー。
この人 春に咲くかなって思って。
あの人 戻した方がいい？
この人 いいよ。どうせ咲かないでしょ。
あの人 わかんないだろ。
この人 わかるよ。
あの人 なんて。
この人 逆に聞いていい？
あの人 逆に聞かれる系？
この人 うん。逆に聞く系。逆にさ、なんでわかんないの？
あの人 ……。
この人 だよね？
あの人 ああ……。
この人 ごめんね。
あの人 いや、こっちこそ。
この人 うん。
あの人 うん……。

あの人、球根をそつと地面に置く。

あの人、掘り続ける。

この人 そうだよ。
あの人 ん？
この人 丁度一か月前だよ。
あの人 なに？植えたのが？
この人 も、そうだし。
あの人 うん。
この人 開戦したのも。
あの人 ああ……そっか。
この人 覚えてるよ。植えた次の日に警報が鳴ったんだよ。
あの人 そうなんだ。
この人 そう、覚えてるよ。だって、僕さ、思ったんだもん。うん、そうだよ。僕思ったん

だ、そうだよ、覚えてるよ。

あの人 なに。なんて思ったの？

この人 あのさ、僕が球根植えたから戦争が始まったんじゃないかって。

あの人 え。

この人 だって、植えた次の日だったんだよ。そりゃさ、僕のせいかなー、ってなるよね。

あの人 いや、ならないよ。

この人 なったの、僕はなったの。

あの人 だって、因果関係ないじゃん。

この人 でもさ、君はさ、この戦争の理由説明できる？

あの人 ……いや。

この人 でしょ、突然始まったでしょ。だから、なんとなく、僕のせいかなって、うん。球根植えちゃったからさ。

あの人 球根か。

この人 うん、球根のせい。ひいては僕のせいかなって。

あの人 やっぱりなんか、違うと思うけど、それは。

この人 僕はそうなの。そう思ったの。

あの人 うん。そっか。

この人 うん。ごめん。

あの人 謝ることじゃないよ。

この人 うん。

間。

あの人 ……あのさ。

この人 ん？

あの人 なんて、嫌いになんないの？

この人 なにが？

あの人 さつきさ、別に外国嫌いじゃないって。

この人 ああ、うん。

あの人 俺、凄く嫌いなんだよ。

この人 そうだね。

あの人 アメリカとか中国とかロシアとか、外国。俺全部嫌いでさ、だって、戦争してるし、攻撃されてるし。なんで、嫌いになんないの、お前は。

この人 なんで、なんでって。

あの人 攻めてきてるの外国だろ。よく分かんないけどさ。最初は「中国だ！」って皆言ってたけど、アメリカもロシアもイギリスも東南アジアとかも来てるって言ってる

し。今飛んでるのだって、どこのなんの戦闘機か分かんないんだぜ。なんかどこが攻めてきてるか詳しくは分かんないけどさ、外国なのは確かじゃん。なんで、なんで嫌いになんないのさ。

この人　なんで、なんでかな。多分さ、多分ね。

あの人　うん。

この人　多分だよ。

あの人　うん。

この人　うん。多分、向こうからしたら、同じだからかな。

あの人　……どういふこと？

この人　多分さ、日本の人たちもさ、向こうに攻撃してるでしょ。多分だけどね。だったら、なんか恨んでもさ、なんか堂々巡りじゃん。

あの人　……。

この人　うん、多分だからさ。釈然とはしてないんだけど、僕も。

あの人　お前、なんか、すごいな。

この人　そっかな。

あの人　うん。すごいよ。優しいよ。俺、嫌いだもん。憎いもん。怨めしいもん。あいつら。

この人　それは自由でいいじゃん。

あの人　でも、すごいよ。うん。

この人　あんまり褒めないでよ。照れちゃう。

あの人　うん。

この人　……あ、本当に褒めなくなるやつがあるか。

あの人　え、あ、ごめん。

この人　いいよ。

あの人　ああ。掘るな。

この人　うん。

戦闘機の飛ぶ音。

この人　お、飛行機。また来た。

あの人　ああ、うん。

あの人、地面を掘り続ける。時々出てくる球根を横に置いていく。

この人　あれ、なんか爆弾とか積んでるのかな。

あの人　そのために来たんじゃないの。

この人　せめて、庭には落とさないでほしいなあ。

あの人 うん。

この人 僕さあ。

あの人 うん。

この人 もしね、もしさ。もし、一か月前に戻れたら、球根植えないね。うん、絶対植えない。
い。

あの人 だからそれ、関係ないから。

この人 うん。でもさ、植えない。植えちゃったらさ、戦争始まっちゃうし。や、なんていうか、植えちゃったから、僕のせいみたいな気がしちゃってさ。うん、植えないよね。植えない、絶対。

あの人 ああ。それがいい。

この人 それにさ、僕が植えちゃったからさ、その球根もさ、うっかり春には咲けるんじゃないかなと思っちゃってるだろうしさ。悪いことしちゃったなあ。

あの人 そうだな。

この人 ね、そつちのがいいよね。戦争が終わってもさ、生きてるといいな。球根とシリナガこそあどとテナガこそあど。

あの人 うん。俺らもね。

この人 僕は、いいかな。

あの人 なんです。(この人を見る)

この人 いいよ、僕は。

あの人 だから、なんで。

この人 ー、だから、ほら、植えちゃったし、球根。

あの人 関係ないって。

この人 うん。

あの人、手を止めてこの人をジッと見る。

この人 (気づいて) なに?どした?

あの人 植えよう。

この人 え。

あの人 こいつら植えなおそう。

この人 え、なに。

あの人 植える。植え直そう。

この人 なんで、え、防空壕は?

あの人 いい。ほら、お前も。

この人 え。

あの人 こつち来て。

この人　なんで、やだよ。

あの人　植えるよ。

この人　やだよ。

あの人　一緒に植えるの。

この人　なんで。

あの人　だって、なんか卑怯だよ。お前だけ、なんかそうやって納得しちゃってさ、なんだよ、俺だって、納得したいの。納得したいの！今の戦争、いや起きる前から訳わかんなかったけどさ。納得したいの。だから、一緒に植えよう。共犯、共犯だよ。共犯者になろうぜ。ほら、友達から一気にグレードアップしてさ。でさ、終わったらさ、色々。天津飯でも酢豚でも水炊きでもなんでも作ってやるから。な、それでさ、手打ちにしてさ、植えようよ、球根。

この人　……うん。

あの人　うん。植えようぜ。

この人　うん。

この人、あの人のお傍へ。

この人　なんかさ、良い人だね。

あの人　んなことないよ。

この人　いや、良い人だよ、うん。

あの人　俺、お前みたいにすごくないし。優しくないし。

この人　僕さ知り合って初めて、君が良いやつに見えた、今。

あの人　それは言い過ぎ。

この人　そっか。

あの人　料理とか作ってやったじゃん。

この人　そっか。そうだね、うん。

あの人　うん。植えよう。

この人　うん。

あの人　日が暮れる前にさ、寒くなる前にやっちゃおう。

この人　もうかなり寒いけどね。

あの人　そうだけど。急ごう、兎に角。

この人　うん。

あの人　（空を見上げ）あいつ、いつになったら帰んのかな？

この人　さあ。そのうち行くよ。

あの人　かな。取って。

この人　ん？

あの人 球根。

この人 ああ。(渡す) 僕、手で掘るの。

あの人 うん。シャベル一個しかないんだ。

この人 マジか。

あの人 いいじゃん。芋ほりみたいで。

この人 ああ、そうだね。芋ほりみたいだね。芋ほりみたいだ。

二人、ぶつくさ喋りながら庭を掘っては球根を植える。

戦闘機の飛ぶ音。

終わり。